

SS 探究 群馬県理科研究発表会

令和5年11月5日 群馬大学にて開催

「群馬県理科研究発表会」は、小学校から高等学校の児童・生徒が、日頃の研究成果を発表するものです。高等学校では、物理、化学、生物、地学、ポスターの5部門があります。

本校からは、2年生の生徒7名が各部門に分かれ5つの発表を行いました。生徒たちにとっては、1年間で最も大きな発表会であるため、発表前日まで実験や発表資料の作成を行い、持てる力をすべて発揮できるよう努力を続けてきました。生徒たちは、自分の研究テーマについて堂々と発表を行い、審査員の先生方や他の発表者との質疑応答でも白熱した議論を行うことができました。今後は、実験の精度を上げるために実験数を増やし、新たな課題の解決のため研究を進めていきます。

以下に入賞結果と研究テーマの一覧を記します。

発表テーマ

【物理部門】

「ちりとりのゴミはなぜ残るのか」

審査員奨励賞

「Y字構造を用いたダンボール壁の防音効果」

【化学部門】

「緑茶の茶殻を利用した曇り止めの作成」

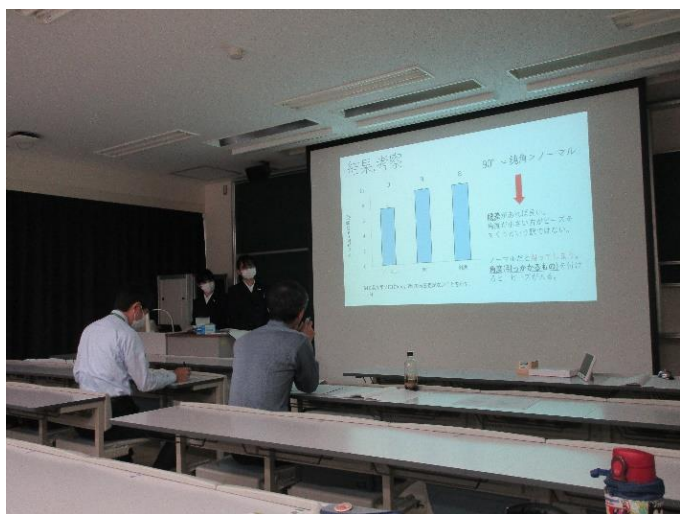
自然科学専門部会長賞

「牛乳の脂肪分を用いたセッケンの生成」

【ポスター】

「地震による振動の影響を受けない家具の作成」

物理分野 発表の様子



化学分野 発表の様子



ポスター発表の様子

